

帯広市長選挙候補者選挙公報

子どもたちに残したい未来! 夢かなうまち おびひろ

物価高から

市民の生命と暮らし、地域経済を守ります!



フードバレーとかち
「積み重ねた信頼と実績」の先に続く「十勝・帯広の未来」

食・農を前へ!
AI農業特区 川西ICフードテックパーク 畜大などと連携して農畜産物の価値向上「和牛オリンピック」など大規模イベント誘致・開催で十勝の魅力発信 など

まちを前へ!
緑ヶ丘公園魅力向上・少年院跡地利活用 にぎわう中心市街地づくり 持続可能な公共交通 上下水道事業の効率化・基盤強化 帯広圏デジタル化推進構想 など

ひと・くらしを前へ!
子どもを真ん中に子育て期の支援施策充実 健康習慣づくり 高齢者などが暮らしやすい環境づくり 「おいしい」給食の進化 など

市民負担を軽減します!
(取組の例)
・小学校の給食費完全無償化
・水道基本料の10ヶ月免除
・高齢者無料バス券の継続
・子育て支援施策の拡充
・町内会の負担軽減 (防犯灯、広報配布の市への移管) など

プロフィール
1956年帯広市生まれ。双葉幼稚園、柏小、東小、六中、柏葉高校、北大卒業。IHI入社、ジャフコに転じ、北海道ジャフコ社長、ジャフコ常務、ジャフココンサルティング社長を経て2010年より帯広市長。

公式 Facebook 公式 Instagram

無所属
米沢のりひさ
七十歳

いま、選択のときです。

これからの四年。あなたは今のままで良いのか。それとも未来への挑戦に踏み出すのか。



帯広市政3つの成果責任

所得

商売が成り立ち、働く人の手取りが増える街へ。

- ①実績所得を今後10年間で **+10%**
- ②中心市街地昼間歩行者通行量を今後5年間で **+30%**



生活

不安ではなく、安心が続く日常へ。

- ①健康寿命を2035年までに **+2歳**
- ②交通空白地を今後10年間で **ゼロ** に



参加

市民が受け身ではなく、街を動かす当事者へ。

- ①1万人対話の実施
- ②市民参加型予算制度の創設



プロフィール

1966年、帯広市生まれ。帯広小学校、帯広第五中学校、帯広柏葉高等学校で学び、京都大学を卒業。弁護士として制度の現場に携わる一方、2014年に十勝シティデザイン創業。2016年 HOTEL NUPKA に続き、2019年馬車BAR立ち上げ、2025年帯広食べ歩きまち株式会社創業。十勝の地域プロジェクトを加速させている。

かしお
柏尾
哲哉
てつや

投票日は 4月12日(日)

投票時間は 午前7時から 午後8時まで

投票は午前7時から
午後8時まで



※一部、投票時間が異なる
投票所がありますので、
ご注意ください。

この街の未来を拓く

選ばれる街・帯広 — 7つの約束

農業・観光から地域産業まで、持続的な活力を帯広に
原材料高騰や人手不足に対応し、AI農業とフードテックで産業強化

子どもを真ん中に、安心して産み育てられる環境を
医療費助成18歳まで拡充や保育料軽減で、負担を減らし安心の環境へ

学びと仕事がつながり、若い世代が関われるまちへ
不登校支援や若者議会で、多様な学びと参加の機会を広げるまちへ

歳を重ねても、住み慣れた地域で暮らせる安心を
移動・医療・介護を連携し、ドクターヘリ等で命と暮らしを守る体制へ

北国の暮らしを支え、冬の日常の安全を確かなものに
除雪・排雪の強化と見える化で、冬の通学・生活の安全を守る

無理なく関われる、
人のつながりが続く
地域づくりを

町内会の負担軽減と空き家活用で、
支え合いが続く地域へ

市民に向き合い、
信頼を深める市役所へ

書かない窓口など行政改革で、
市民に寄り添い信頼される市役所へ

上野ようすけ プロフィール

- 1973年5月22日帯広市生まれ
- 東京都立大学法学部卒業後、2012年12月まで東京都内出版社にて、専門書編集者として15年間勤務。
- 2013年1月から2014年6月衆議院議員公設第一秘書。
- 2014年6月学校法人帯広英学園理事に就任(現在副理事長)。
- 2019年4月帯広市議選挙・初当選、建設文教委員会所属。
- 2023年4月帯広市議会議員選挙・当選(2期目)、建設委員会委員長、議会運営委員会委員
- 2025年4月帯広市議会厚生委員会委員



うえの
上野
ようすけ
52歳

帯広市議会議員補欠選挙候補者選挙公報

期日前投票についてのお知らせ

4月12日に仕事や用事などで投票へ行くことができないと見込まれる方は、期日前投票制度をご利用ください。

投票場所・日時

※投票場所で日時が異なりますので、ご注意ください。

●帯広市役所3階大会議室

(西5条南7丁目1番地)

4月6日(月)～11日(土) 午前8時30分～午後8時

●フレスポスズランプラザ2階

宮脇書店様、TOKYO SHOES様 隣

(稲田町南8線西10-1)

4月6日(月)～11日(土) 午前10時～午後8時

※初日6日や最終日11日は混み合うことが予想されます。

●帯広畜産大学 かしわプラザ

(稲田町西2線11番地)

4月7日(火) 午前8時30分～午後8時

●森の里コミュニティセンター

(西22条南4丁目1番地1)

4月8日(水)～11日(土) 午前8時30分～午後8時

持ち物 投票所入場券

その他 「期日前投票宣誓書・請求書」に必要事項を記載してから投票していただきます。

清水たつおの考えること

商店街活性化 地域経済を元気に、にぎわいを取り戻す

若者・働く世代支援 雇用、子育て、教育環境の充実

地域経済の再生 中小企業・個人事業をしっかりと支援

【プロフィール】

1968年4月16日帯広市生まれ。
市立若葉小学校、同第八中学校、北海道帯広柏葉高等学校、早稲田大学政経学部政治学科卒業。
個別指導塾講師運送会社勤務を経て、帯広市へUターン。
・株式会社シノカワ代表取締役
・帯広平原通り商店街振興組合理事長
・おびひろ平原まつり実行委員長
・帯広市商店街振興組合連合会副理事長などを歴任。

趣味 **テニス**
家族 **妻、長女**
好きな食べ物 **ラーメン**
尊敬する人 **ロジャー・フェデラー**
好きな言葉 **待て、然して希望せよ**

清水たつおを応援する会

事務所／帯広市大通南4丁目20-7(2階) TEL 090-3688-6904 FAX 0155-29-3784

誠実にまっすぐに



清水 たつお

帯広の未来を守る・信じる・創る

十勝の救急医療は帯広市に集中しており、十勝管内の農家に支えられて成り立つ救急医療です。だからこそ、広い十勝の医療を守るためにドクターヘリが必要です。
平成28年4月に消防本部と広域消防組合が広域合併することで日本一広い地域の消防局へ生まれ変わり消防力、救急医療の向上が期待されました。同じ年の8月に台風10号(十勝台風)による大規模水害が発生し清水町、芽室町は甚大な被害に見舞われました。
そこで、現場視察を行った際に空からの救助、スピーディな医療処置や転院搬送を行えるドクターヘリが必要であると痛感し、十勝のドクターヘリ配備を目指すため、地元帯広市に戻り帯広市議選の出馬を決めました。

【安心・安全・十勝帯広未来を創る】

- ドクターヘリ独運用の実現
- 事な自分、大切な家族の命を守る救急・防災教育
- 大切な家族と命を守る救急・防災教育
- 子供から高齢者までみんなが集う防災道の駅
- 除雪や道路の整備を効率的に行い安全な街づくり
- 魅力・未来・ワクワクする帯広を目指す



益田 りょうすけ

2期の実績! 即戦力!

仕事と雇用が安定した環境を作り、人を呼び込む帯広市を目指します!

高齢者見守りをインターネット技術(ICT)による丁寧なサポート。高齢者世代が楽しめる、通いの場を提案します。

経済、子育て、福祉、除排雪に力を入れます!

子ども医療費の助成拡大を訴えます。除排雪の体制を見直し。子育て世帯の市民意識を把握し、帯広市の気候状況を踏まえ、適切な対応を求めます。支援事業に取り組みます。行政の既存事業を効率化していき、取り組む事業の予算確保を考えます。

profile ■帯広市生まれ(1982年3月24日) ■帯広市立緑丘小学校
■帯広市立帯広第八中学校 ■北海道帯広三幸高等学校
■北星学園大学経済学部経済学科 ■衆議院議員 石川ともひろ事務所
■帯広市議会議員(1期) ■帯広市議会議員(2期) ■株式会社そら



無所属 石橋 かつみ 44歳

みんなで投票。みんなで参加。あなたの一票大切に



お問合せ：帯広市選挙管理委員会事務局 電話 0155-65-4222